

## 日本海大和堆周辺水域における外国漁船への対応状況について (平成30年漁期)

- 日本海の大和堆周辺水域は、近年、特にイカの漁場が形成される6月から12月にかけて北朝鮮漁船及び中国漁船による違法操業が確認されており、水産庁では、日本漁船の安全操業を確保するため、海上保安庁と連携して監視取締りを強化しています。(写真1)
- 現在、漁業取締船は、1日数十隻の北朝鮮漁船等に対して放水等の厳しい措置を行っており、同水域から排除しています。大和堆周辺では、日本のイカ釣り漁船、カニかご漁船、底びき漁船が操業しており、漁業取締船は漁業関係者ともコミュニケーションを取りつつ、効果的な取締りを行っています。また、北朝鮮漁船が退去する際に放棄した漁具(流し網)も回収に努めています。(※)
- (※) 水産庁では、本年に入り、延べ798隻の外国漁船に対して退去警告を実施し、そのうち延べ308隻に対して放水を実施しました。また、これまでに39件の漁具を回収しています。(平成30年6月22日現在、写真2、3、4)

写真1. 連携して北朝鮮漁船を排除する漁業取締船と巡視船



写真2. 漁業取締船が北朝鮮漁船に放水・退去警告を行う様子①



写真3. 漁業取締船が北朝鮮漁船に放水・退去警告を行う様子②



写真4. 放水等により放棄された漁具を陸揚げする漁業取締船



北朝鮮漁船が放棄した流し網漁具

## 平成30年6月13日 新潟港における水産庁と海上保安庁の合同訓練

- 平成30年6月13日（水曜日）、新潟港において、水産庁漁業取締船照洋丸と海上保安庁巡視船しれとこが合同で、大和堆周辺水域で行っている放水等の退去警告訓練を行いました。報道関係者をはじめ、漁業関係者にも参加いただき、日頃、漁業取締船と巡視船が現場でどのように対応しているのか体験いただきました。本訓練の様子は、Youtubeのmaff channel (<https://www.youtube.com/watch?v=5t5CsNbRSgI>) や水産庁動画ギャラリー (<http://www.jfa.maff.go.jp/j/koho/douga/master.html>) でもご覧いただけます。

訓練に参加した水産庁漁業取締船照洋丸



漁業取締船照洋丸と海上保安庁巡視船しれとこ



放水訓練の様子

(照洋丸からの様子)

